

# にしっこ 西っ子のみなさんへ 112 10月7日

放送委員がお昼の放送で取り上げてくれましたが、2年ぶりに日本人（現在はアメリカ国籍）がノーベル賞を受賞しました。アメリカプリンストン大学の気象学者である真鍋淑郎さんです。

気象学者が物理学賞を受賞したということで、ご本人もびっくりしてみえましたが、気候変動についての研究を進める中で、世界で最も早くから地球温暖化と二酸化炭素との関係に着目し、地球温暖化予測のための気候モデルをつくりあげたことが評価されました。スーパーコンピュータを使ったシミュレーションなどいち早く取り組まれました。



近年、「数十年に一度」とされる酷暑や豪雨、干ばつなどの異常気象が頻繁に起こり、地球温暖化の影響が私たちの生活を脅かしています。

真鍋さんは、1960年代には、温暖化予測の気候モデルの基礎を築いており、詳しい温暖化の予測を行えるようにしてこられたからこそ、今人類が何をしなければならぬのかを具体的な数値目標で示すこともできるようになったのです。

人類が二酸化炭素などの温室効果ガス排出削減に取り組み、少なくとも2030年までに世界の温室効果ガス排出量を半減させることができれば、世界の気温上昇を1.5℃程度に抑え込むことができ、地球環境は破局的な状態にまでは至らないであろうとされています。とはいえ、全世界で協力して取り組まなければ、この目標値を達成することはできません。すでに、氷河は後退し、永久凍土も溶け始めています。

真鍋さんたちの研究が、人類を破滅の危機から救ってくれることになる。人類のために役立つ研究であったことが、今回の受賞につながったのだと考えます。

また、化石燃料により大きな利益を得ている人たちの中には、「地球は温暖化していない。」「二酸化炭素量の増加と気温の上昇は関係ない」という主張をされる人もいます。そして、その主張を信じたり、利用したりする人もいます。

このような主張を否定し、科学的な研究結果により、二酸化炭素等の温室効果ガスが地球温暖化、気候変動の大きな原因であることを今一度アピールし、全人類が協力して持続可能な社会（地球環境）を築いていかなければならないことを、世界に向かって発信したのではないかと考えてしまうのは私だけでしょうか。みなさんはどのように受け取りましたか